

犬っ子まつり 生徒が商品開発 行事盛り上げ**湯沢北中 デザイン考案、8日販売 四季表現 上生菓子4種**

湯沢市の湯沢北中学校2年生85人が、8、9日に開催する市の小正月行事「犬っ子まつり」で和菓子を販売するための準備を進めている。販売は8日のみ。和菓子は上生菓子で、湯沢の四季をテーマに4種類を展

開。生徒たちは「お菓子を通じて地域の季節の美しさを知ってもらうきっかけにしたい」と意気込んでいる。

ふるさとの四季の移ろいを和菓子で表現する美術の授業の一環。

1人1案ずつ考え、校内の審査で選ばれた四つのデザイン案を地元の老舗和菓子店「わかさ菓子店」が形にした。春はサクラの花びらが

川に落ちて流れる情景、夏は雨粒が当たって光るアジサイを表現した和菓子となっている。秋の情景を基にデザインを考案した古山和夢さんは「日々移り変わる夕焼け雲と壮大な鳥海山のきれいな風景をデザインに落とし込んだ」、冬の湯沢を主題にした高橋雪月花さんは「冬の澄んだ空気に洗練された美しさを感じ、雪の結晶のような花をデザインした。湯沢の四季を想像し、楽しみながら味わってほしい」と話す。

1月30日には商品を入れるための手提げ袋のほか、「四季の美しさを味覚と視覚で楽しんでください」といったメッセージを一人一人が書き添えたカードを制作。カード台紙には美術部の2年生が描いたかわいらしい雪だるまや、行事の主役「犬っ子」がデザインされている。和菓子は一つ350円。市文化交流センターのロビーで販売する。数量は25個。午後0時半～2時半。（舘岡朋美）（令和7年2月5日（水）秋田魁新聞より一部抜粋）